

事務事業名	就学児健康診断事業			<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業																																						
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間			予算科目																																			
	施策名	26 幼児教育の充実			<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 S33 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入			会計	款	項	目	事業																															
	基本事業名	01 就学前教育環境の整備・充実						01	10	02	01	10																															
根拠法令	学校保健安全法第11条																																										
所属	部課名	教育委員会事務局 学校教育課																																									
	課長名	千田 晃一																																									
	係 名	学務係	電話	0192-27-3111																																							
担当者	門口 光貴	内線	277																																								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																						
毎年、秋(9月中旬から11月下旬)に、翌年度に小学校へ入学する児童を対象とした健康診断(内科、眼科、耳鼻科、歯科)及び知能検査を実施する。 主な業務は、事務担当者会議開催通知及び会議資料の作成、担当者会議当日の運営、議事録の作成、担当医、幼稚園・保育所(私立も含め)との日程調整、私立幼稚園・保育所との事務委託契約書の作成及び締結、担当医報酬等の支払い。 事業費は、担当医報酬、事務委託料等である。					<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">総 投 入 量 (千 円)</th> <th rowspan="2">財 源 内 訳</th> <th colspan="2">国庫支出金</th> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td></td> <td>0</td> </tr> </table>	総 投 入 量 (千 円)	財 源 内 訳	国庫支出金		都道府県支出金			地方債				その他				一般財源				事業費計(A)		0		正規職員従事人数				延べ業務時間				人件費計(B)		0		トータルコスト(A)+(B)		0
総 投 入 量 (千 円)	財 源 内 訳	国庫支出金																																									
		都道府県支出金																																									
	地方債																																										
	その他																																										
	一般財源																																										
	事業費計(A)		0																																								
	正規職員従事人数																																										
	延べ業務時間																																										
	人件費計(B)		0																																								
	トータルコスト(A)+(B)		0																																								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

事務担当者会議開催通知及び会議資料の作成、担当者会議当日の運営、議事録の作成、担当医、幼稚園・保育所(私立も含め)との日程調整、私立幼稚園・保育所との事務委託契約書の作成及び締結、担当医報酬等の支払い。

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

事務担当者会議開催通知及び会議資料の作成、担当者会議当日の運営、議事録の作成、担当医、幼稚園・保育所(私立も含め)との日程調整、私立幼稚園・保育所との事務委託契約書の作成及び締結、担当医報酬等の支払い。

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

就学児(各幼稚園及び保育園の年長児)

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

心身ともに健康で就学前教育を受けることができる。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安全・快適に就学前教育が受けられる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称		単位
ア	市内幼稚園数	施設
イ	市内保育所(無認可等含む)数	施設
ウ		

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称		単位
カ	就学時健康診断受診対象者数	人
キ		
ク		

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称		単位
サ	就学時健康診断受診者数	人
シ		
ス		

(2) 総事業費・指標等の推移

投 入 量	事業費	年度 単位		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
		国庫支出金	千円						
	財源内訳	都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	人件費	一般財源	千円	510	595	497	575	570	565
		事業費計(A)	千円	510	595	497	575	570	565
	人件費								
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	150	150	150	150	150	150
		人件費計(B)	千円	600	600	600	600	600	600
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,110	1,195	1,097	1,175	1,170	1,165
	⑤活動指標	ア	施設	4	4	4	4	4	4
		イ	施設	12	12	12	11	11	11
		ウ							
	⑥対象指標	カ	人	386	284	263	261	250	262
		キ							
		ク							
	⑦成果指標	サ	人	386	284	263	261	250	262
		シ							
		ス							

事務事業ID	0945	事務事業名	就学児健康診断事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

根拠法令の制定(昭和33年)に伴い、事業を開始している。

- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

市内開業医が不足(特に眼科医と耳鼻科医が1名ずつ)となっており、日程調整に労力を使っている。

- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

事務事業ID 0945

事務事業名 就学児健康診断事業

3 評価結果の総括と今後の方針(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 根拠法令に基づいて、民間業者へ委託(アウトソーシング)して事業実施している。																		
<table border="1"> <tr><td>① 目的妥当性</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr><td>② 有効性</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr><td>③ 効率性</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr><td>④ 公平性</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td><td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり							
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																	
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																	
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																	
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																	
(3) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)																			
(上記方向性に対する具体的な内容) 根拠法令に基づいて事業実施しているため、現状維持が妥当である。																			
(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																			
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">成績</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成績	向上			維持	●	×	低下	×	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成績	向上																		
	維持	●	×																
低下	×	×	×																
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 市内開業医不足により、日程調整に労力を使っているが、現在のところ解決策はない。																			

4 事務事業の2次評価結果

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

2次評価者

学校教育課長

千田 晃一

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)

- 記述不足でわかりにくい
 一部記述不足のところがある
 記述は十分なされている

②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)

- 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)
 一部に客観性を欠いたところがある
 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)

(2) 2次評価者としての評価結果

① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり

(3) 評価結果の根拠と理由

適切な事務執行がなされている。

(4) 次年度の方向性(改革改善案)…複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)

- 廃止 休止 目的再設定 事業統合・連携 現状維持
 事業のやり方改善 (有効性改善 効率性改善 公平性改善)

(上記方向性に対する具体的な内容)

学校保健安全法の規定により、就学時健康診断を行っている、この診断結果に基づき、治療勧告をし、保健上の助言や就学義務の免除・猶予又は、就学に関しての適切な処置を講ずる資料となるので現状維持とする。

(5) 改革・改善による期待成果

左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。
 (廃止・休止の場合は記入不要)

	コスト		
	削減	維持	増加
成績			
向上			
維持	●	×	
低下	×	×	×

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項